

建設関連業のイメージアップの取組について

資料2

国土交通省建設市場整備課

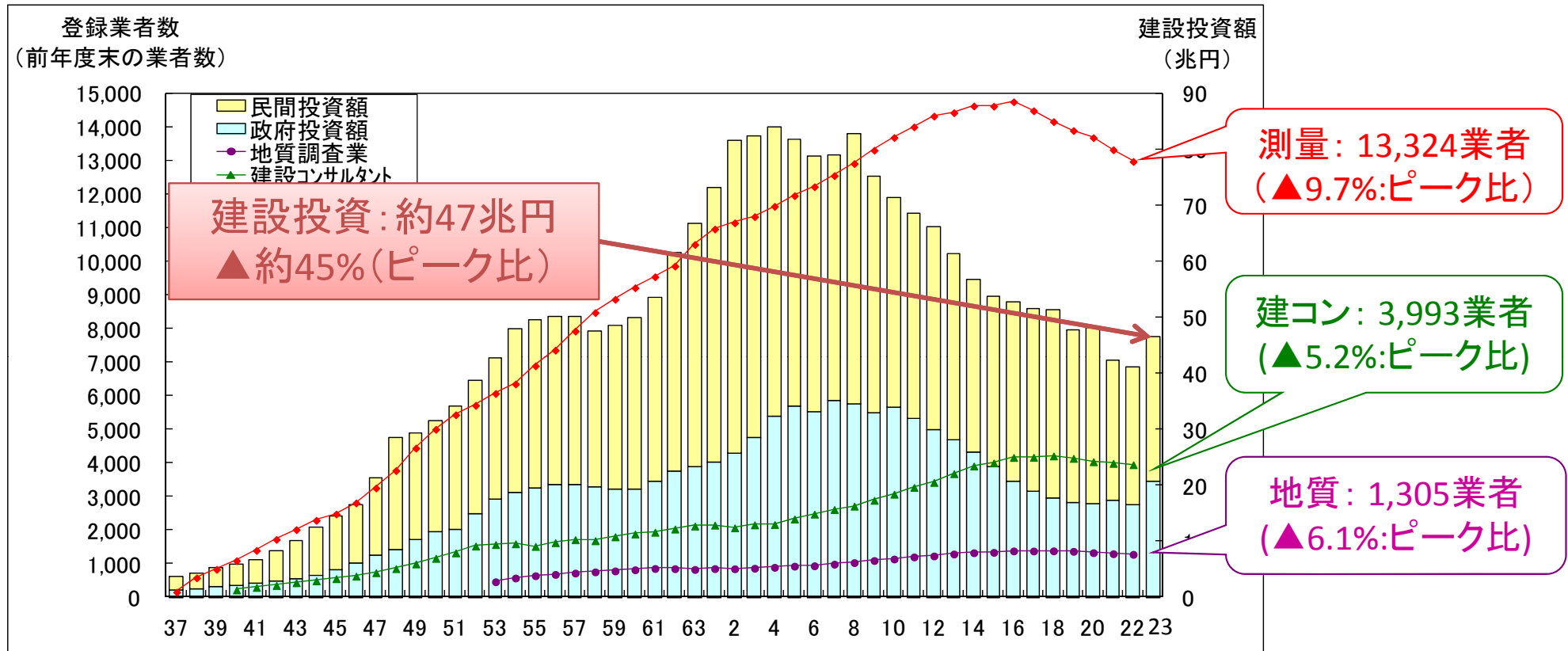
建設関連業（測量業、建設コンサルタント、地質調査業）

登録業者数

- 測量業 13,324
 - 建設コンサルタント 3,993
 - 地質調査業 1,305
- （平成24年3月末現在）

環境の変化

- 建設産業全体と同様の課題があり、厳しい
- 建設投資額の大幅な減少等による経営環境の悪化
 - 労働環境の悪化（長時間労働、賃金低下）
 - 若年労働者の減少 等



建設関連業におけるそれぞれの取組

建設関連業団体における既存の取組の例

○参加イベント、または主催イベントでの説明 等【一般または学生向け】

- ・「測量の日」関連行事開催 : 全国測量設計業協会連合会
- ・「全国高校ものづくりコンテスト」への協力 : 全国測量設計業協会連合会
- ・「高校生橋梁模型作品発表会」への協力 : 建設コンサルタンツ協会東北支部
- ・建設コンサルタントフェアの開催 : 建設コンサルタンツ協会中部支部
- ・全地連表彰(一般の方を対象に地質情報の周知普及や技術向上などに貢献された方を表彰)
: 全国地質調査業協会連合会
- ・建設フェスタ(茨城県)、まちづくり2012ふれあいイベント(静岡県)への出展
: 建設コンサルタンツ協会 等

○学校説明会、出前講座 等【学生(含む生徒、児童)向けまたは一般向け】

- ・学校説明会、出前講座 : 建設コンサルタンツ協会本部、北海道支部、北陸支部、近畿支部
- ・就職イベントへの出展 : 建設コンサルタンツ協会関東支部
- ・防災学習会、環境学習会の実施 : 建設コンサルタンツ協会中国支部、四国支部
- ・小学生、市民等を対象とした地学教室 : 全国地質調査業協会連合会・地区協会

○冊子の作成・配布、ホームページ作成 等【一般または学生向け】

- ・「グローバル関東」、「クリエイトきんき」の発刊 : 建設コンサルタンツ協会関東支部
- ・「日本ってどんな国」の作成と配布 : 全国地質調査業協会連合会・地区協会
- ・地質情報ポータルサイトの設置 : 全国地質調査業協会連合会

➤ 各団体、地域ごとに個別に取り組んでいる

建設関連業イメージアップ促進協議会

【趣旨等】

・「建設関連業の課題と展望」(H22年4月 建設関連業検討会(座長小澤一雅東京大学大学院教授))
の指摘

- 1) 若手技術者が減少しており、学生等を対象としたセミナー等情報発信に取り組むべき
- 2) 就労が進まない原因として、社会的に認知不足も。PRにより社会的認知度を向上させるべき



就労前の学生、一般の国民等を対象に説明会等を開催し、社会的認知度向上及び人材確保に寄与することを目的とするが、一般への効果的な周知活動は難しい。

まずは新規入職者確保の取組から取りかかる。

また、試行錯誤する中で、今後の活動内容等を見いだしていく。

建設産業全体の取組(特に一般向け)があれば一緒にやっていきたい。

【協議会(平成24年6月発足)】

○メンバー

- (一社) 全国測量設計業協会
- (一社) 建設コンサルタンツ協会
- (一社) 全国地質調査業協会連合会
- 国土交通省建設市場整備課

○オブザーバー

- (公財) 日本測量調査技術協会
 - (一社) 国際建設技術協会
 - 建設コンサルタンツ協同組合、
 - (一社) 全国建設コンサルタント業協会連合会
- より参加

建設関連業イメージアップ促進協議会の取組状況

【平成24年度の実施内容】

- 建設関連業(大学)説明会 : 3回
- ホームページによる情報提供 : 作業実施(予定)
- リーフレットの配布 : 作成と配布(予定)
- 現場見学会、一般向け説明会の検討 : 検討可能性の検討
- 協議会の実施 : 3回
- 先進団体の訪問 : 2回

実施内容の再検討

【平成25年度の実施予定】

- 建設関連業(大学)説明会 : 4回
- ホームページによる情報提供 : 内容の追加等
- 現場見学会、一般向け説明会の検討 : 実施可能性の検討
- 協議会の実施 : 3回

問い合わせ先: 建設市場整備課 平野、田畑 03-5253-8111(内線24816)

建設関連業ホームページ: http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000057.html